



今回は、地元池田町に60年間在住。
CBCテレビで天気予報のおじいさんとして、お茶の間で親しまれた北村泰宏さんの紹介です。



1. 「気象」を生涯の仕事としたきっかけは

昭和30年末から平成はじめにかけて、「野生の大国」という動物をテーマにしたドキュメンタリーTV番組があり、その自然の素晴らしさに感動した。やがて、算数が好きなことから理系の学校に進み、気象庁海洋気象部長を務められた淵先生に出会い、気象業務に携わることになった。

2. 今日までの仕事内容

それまで本州を出たことのなかった私は、学校卒業後初めて本州を離れ、関門海峡を渡った。福岡で8年、新聞やラジオなどで気象解説を行い、その後宮崎で4年代四港湾建設局の海象予測業務に携わった。九州で12年過ごした後、昭和61年名古屋に赴任し、約20年CBCテレビの天気キャスターを務めた。現在は主に国土交通省の降雨・降雪予測業務に携わっている。

3. 風船の飛行調査が示すもの

今春、NPO法人が敦賀から風船を放球した。風船は西風に乗って、西濃地方に多数飛来した。日本はアジアモンスーン地域にあり、冬は大陸から吹いてくる北風が卓越し、夏は太平洋高気圧から吹いてくる南風が卓越する。敦賀の風配図を見ると、東西風は吹きにくく、南北風が吹きやすいことがわかる。特に夏は南風が顕著に吹き、冬になると北西から北風が吹くようになる。敦賀市は西濃地方の北西側に位置し、冬場は西濃地方のちょうど風上にあたる。これは好むと好まざるにかかわらず、冬は北陸

の空気塊が西濃地方に流れ込みやすいことが言える。
空に景境はない。(臼井幹夫)



CBCのお天気キャスターとして、長く活躍された



編集後記

6月から7月にかけて、九州各地は連日大雨で大きな水害に見舞われました。

国政は消費税率の引き上げ、社会保障と税の一体改革で与党は分裂状態となり、先の見えない政治が続いています。

世界ではヨーロッパのユーロ圏、ギリシア、スペインの経済不安定が、世界各国の経済に悪影響を及ぼして、同時不況となっている。

明るいニュースが少ない中で、日本の南鳥島沖で発見された、レアアース鉱床は、日本で消費される40年分に相当する明るいニュースです。

さらに、人類史上大きな成果となる宇宙の成り立ちを解明するのに欠かせない素粒子『ヒッグス粒子』が発見された事は、夢のある大きなニュースです。

池田町にあつては、八幡小学校の建設が始まりました。又池田温泉新館の改修で、とてもきれいになり、道の駅池田温泉は、オープンして一年が過ぎ、多くの来場者があつて感謝しています。

今後共町民の皆様協力のもと、安全で安心な町づくりに取り組んでまいります。

(副委員長 竹中芳弘)